

<空の安全・安心を！ 整理解雇四要件を守れ！>

京都のつばさ



第3号 2011.9.1

日本航空の不当解雇撤回をめざす京都支援共闘会議・発行

京都市中京区壬生仙念町 30-2 ラボール京都 5F 京都総評気付 TEL075-801-2308 FAX812-4149

**炭鉱爆発**

・1960年の九州三井三池鉱山の1278名首切りの後、保安要員を削り安全に気配りするベテランの少なくなった1963年に大爆発が起きて458名の労働者が殺され、839名の労働者がCO中毒となりました。日本最大の労働災害です。

**JR事故**

・1897年の国鉄分割民営化で7千余名もの国労・全動労組合員などのベテランの首を切り、1990年に1047名の二度目の解雇を行い、信楽線(42名死亡)や6年前の福知山線(107名死亡)の尼崎大事故をJRは起こしました。

**空の安全**

のためがんばるベテラン労働者(パイロットやキャビンアテンダント165名)を昨年大晦日に首切ったJAL(稲盛和夫会長=京セラ創業者)は、第二の御巣鷹山事故(1985.8.12、520名ジャンボ機墜落死、最大の航空機事故)を防げるのでしょうか?! 格安航空会社をつくり、労働組合敵視を変えない会社に空の安全は保障できるのでしょうか。JAL労働者の一日も早い解雇撤回・現職復帰で、空の安全が求められています。安い切符と引き換えに、私たちは大事な家族や私たちの生命を稲盛和夫さんに預けたくはないのです! JALは史上最高の収益をあげ整理解雇の必要などなかったのです。



# JALは第二の 御巣鷹山事故 を防げるのか?!



「JALの格安航空会社、国内線初の最低価格保証」

「日本航空は16日、豪カンタスグループ、三菱商事との3社で、9月をめどに新たな格安航空会社(LCC)「ジェットスター・ジャパン」を設立すると正式に発表した。2012年中に国内線の運航を始めたい考えで、同じ路線の競合他社より運賃を安くする「最低価格保証」を実施する。・・・日本の国内線では初めてとなる。」(YOMIURI 2011年8月16日)というが、これを報じたテレビインタビューでもろ手をあげて賛成した利用者はいませんでした。安くても命あつてのモノダネ。

## 労組側勝利命令!

しかし、不当労働行為認定の

東京都労働委員会命令(8/3)に従わず、会社側・JALは裁判(行政訴訟)にもちこみ(9/17)、労使関係をいたずらに混乱におとしめています。

2010年11月に不当な整理解雇に対してストライキ権行使のための争議権投票を行っている最中に、会社更生手続き中のJALの管財人(企業再生支援機構)の「争議権が確立した場合、……3500億円の出資をすることができません」などとする発言が組合に対する支配介入に該当するかが争われていました。

**日本航空は経営上必要のなかった整理解雇を  
早急に撤回し、真の再生に力を注ぐべきです!**